

【情報公開文書(オプトアウト文書)】

令和6年能登半島地震で被災された妊婦・褥婦および、
新生児・乳児を含む小児およびその保護者の皆様へ

研究協力のお願について

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の相談窓口へお問い合わせ下さい。ご連絡がない場合においては、ご了承をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、この研究は、倫理審査委員会の審査を受け、研究責任者の所属機関の長の承認を得て行っているものです。

1. 研究の対象

2024 年 1 月 1 日以降、令和 6 年能登半島地震で被災された妊婦・褥婦および、新生児・乳児を含む小児の方

2. 研究の概要

研究課題名	令和 6 年能登半島地震で課題となった小児・周産期に関連する事例の検討
研究期間	承認日 ~ 2026 年 3 月 31 日
目標数	全体 200 例（金沢大学：100 例、石川県立中央病院：100 例）

令和 6 年能登半島地震では、妊婦や産後のお母さん、新生児や乳児を含めた小児の支援調整に、災害時小児周産期リエゾンが関わりました。

「災害時小児周産期リエゾン」とは、災害が発生した際に、妊婦や新生児、子どもたちのケアを支援するための専門的な役割を担う調整役のことです。災害時には、子どもや妊婦は特に弱い立場にあるため、迅速かつ適切な支援が求められます。「リエゾン」とは、橋渡しや連携を意味する言葉で、この場合、医療機関や支援機関との間をつなぎ、子どもや妊婦に必要な医療やケアを確実に提供する役割を指します。例えば、被災した子どもや妊婦が適切な医療を受けられるように調整したり、必要な物資や情報を提供したりすることが含まれます。過去の災害の教訓を受けて、2016 年度から厚生労働省医政局により災害時小児周産期リエゾンが組織されその活動が始まりました。今回の震災は、災害時小児周産期リエゾンが設置されて以降、初の大規模災害であったことから、事後分析が重要と考えられています。今回、どのような支援ができて、どのような支援ができなかったかを明らかにし、今後の大規模災害の備えにつなげることを目的として調査を行います。

3. 研究の目的・方法について

この研究では、令和6年能登半島地震で被災した妊婦・産後のお母さん、新生児や乳児を含めた小児の課題事例を収集し、原因と今後の対策を見出すことを目的としています。課題となった事例の収集は、かかりつけ医療機関や行政機関の担当者に対して、聞き取りやアンケートを行い収集します。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

収集される情報には、かかりつけ医療機関が通常の診療で有するカルテ情報（年齢、性別、妊娠週数、既往歴、薬剤歴、治療歴、分娩歴、かかりつけ医療機関名）と、被災情報、被災後の支援情報が含まれます。個人を同定する氏名や生年月日、住所は収集しません。

5. 外部への試料・情報の提供・公表

提供された情報は、解析のため共同研究機関である名古屋市立大学と石川県立中央病院へ提供されます。情報は厳重にセキュリティー保護されたクラウドにパスワード管理下に保存され、データ共有されます。

6. プライバシーの保護について

この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された診療情報などのこの研究に関するデータは、個人を特定できない形式に記号化した番号により管理され、研究事務局に収集されますが、あなたの個人情報外部に漏れることはありません。

この研究で得られた結果は、令和6年度厚生労働科学特別研究事業「令和6年能登半島地震における医療チームの対応の検証に基づく災害時医療提供体制の向上に資する研究」の報告書として公表する予定ですが、あなたの個人情報などのプライバシーに関するものが公表されることは一切ありません。

7. 研究組織

研究代表者 鏡 京介（金沢大学附属病院 産科婦人科 講師）

（1）金沢大学における研究実施体制

研究責任者 附属病院産科婦人科 鏡 京介

（2）共同研究機関と研究責任者

研究機関		研究責任者	役割
名古屋市立大学	救命救急医療学	今井一徳	データ解析
石川県立中央病院	新生児科	上野 康尚	情報の収集・データ解析

8. 本研究に係る資金ならびに利益相反について

この研究は、研究助成（課題番号：24CA202 課題名：令和6年能登半島地震における医療チームの対応の検証に基づく災害時医療提供体制の向上に資する研究）を得て実施するものです。この研究の研究担当者は、金沢大学または各研究機関の規定に基づく利益相反審査機関へ自己申告し、その審査と承認を得ています。従って、この研究の研究担当者は、この研究の実施の際に個人的な利益のために専門的な判断を曲げるようなことは一切いたしません。また、学会発表は論文の公表にあたっては、資金について公表し研究の透明化を図ります。

9. 研究への不参加の自由について

情報が当該研究に用いられることについて、妊婦・産後のお母さん、あるいは新生児・乳児を含む小児およびその保護者（代理人）の方にご了承いただけない場合には、研究対象といたしませんので、2026年3月31日までに下記の問い合わせ先までお申出ください。なお、研究結果が既に報告書として公開されている場合や、医学雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

10. 研究に関する窓口

研究責任者 鏡 京介（金沢大学附属病院 産科婦人科 講師）

相談窓口担当者 鏡 京介（金沢大学附属病院 産科婦人科 講師）

住所 〒920-8641 金沢市宝町13-1

電話 076-265-2425（内線2425） Fax:076-234-4266